

当日の運営協力並びに 人員配置について

衣導



会議センター 受付

■受付フロー

- ・ 事前登録または(一般の方のみ)当日登録を行っていただく。
- ・ 正会員についてはJCIアプリから専用サイトにログイン、
その他の方については登録完了メールに記載のリンクから
専用サイトログインページに飛んでいただきログイン。
- ・ 各セミナー、ファンクションの入場時にチェックインボタンを
クリック。
- ・ スマホに表示される登録証を入場受付に提示し入場。

会議センター 受付

■事前準備

- ・受付は「JCメンバー」と「それ以外の参加者」の2つを用意する。
- ・参加者用入場マニュアル(サマーコンファレンス特別委員会より事前配布)を設置する。
- ・緊急入場用芳名帳(サマーコンファレンス特別委員会より事前配布)を設置する。

■受付担当者の業務

※2名以上配置

※不具合等の対応時に画面チェックが必要なため。

(1)JCメンバーの受付

1. JC会員アプリにログインし、サマーコンファレンス2026ページへ移動してもらう。
2. 「参加する」ボタンを押し、「参加証を表示」させる(スクリーンショット等は不可)。
3. 参加証の顔写真を確認する。
4. 入場者の登録フォーム・セミナー名と一致しているか確認する。

会議センター 受付

(2) 学生

学生の場合は学生証を確認し、登録証にシールがあることを確認
(ない場合は会議センター2階受付に案内)

(3) メディア関係者

メディア関係者は「メディアパス」を提示
(持っていない場合は会議センター2階受付へ案内)

(4) 対内広報関係者

内部広報関係者(対内広報委員会メンバー)は「広報パス」を提示

(5) 前記(1)～(4)以外の方の受付※2名以上配置

1. サマコン登録サイトにログイン(メールアドレス・パスワード入力)
2. 以下は前記(1)の受付方法と同様。

会議センター 受付

■エラー等で入場できない場合

1. まずは「参加者用入場マニュアル」を参照し、入場者自身で操作を試してもらう。
2. それでも入場できない場合、以下の手順を実施する。

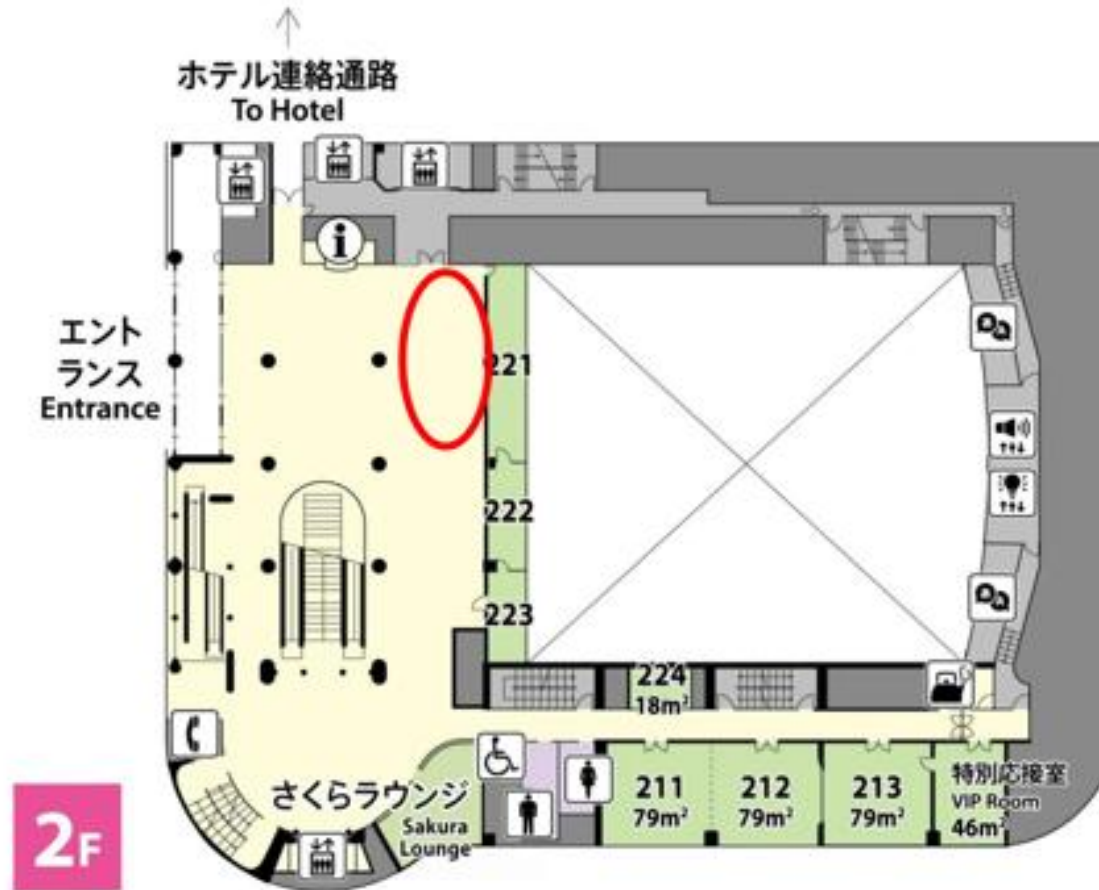
(1) JCメンバー

1. 所属LOM登録担当者に連絡し、登録確認メールをスマートフォン等で提示してもらう。
2. 緊急入場用芳名帳(JCメンバー用)に、氏名・所属LOMを記入してもらい、入場を許可する。

(2) JCメンバー以外

1. 登録確認メールをスマートフォン等で提示してもらう。
 2. 緊急入場用芳名帳(JCメンバー以外)に、氏名等を記入してもらい、入場を許可する。
- ★その他緊急時は、サマコン本部団に連絡すること。

会議センター 受付



インフォメーション
ブース



会議センター インフォメーションブース

■総合インフォメーションブース

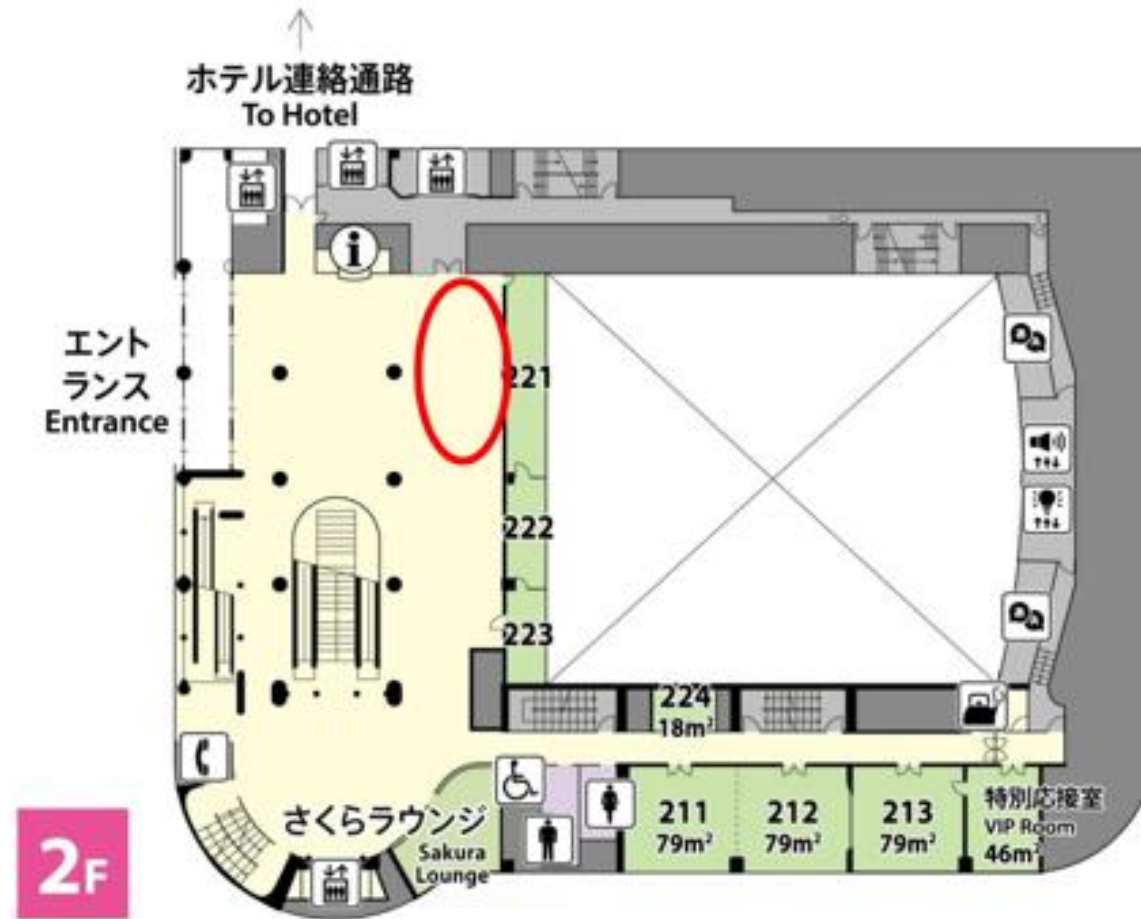
- ・来場者や出展者からの問い合わせ対応
- ・会場・各コンテンツのご案内
- ・スケジュール・参加方法(予約の有無等)
- ・遺失物・拾得物対応(対応後、運営本部まで報告しアナウンス)

■迷子対応 運営本部まで報告しアナウンス 保護

■クレーム対応 運営本部へ報告

■救急患者けが人・病人の対応 運営本部へ報告 救護室514

会議センター インフォメーションブース



インフォメーション
ブース



国立大ホール・会議センタークローク

■サマーコンファレンス参加のJCメンバー及び 一般参加者の手荷物預かり業務

サマーコンファレンス期間中、諸会議などで全国から
来館されるJCメンバー、一般参加者が身軽に諸会議に出席
いただけるよう、手荷物を一時お預かりします。

国立大ホール・会議センタークローク

■クロークフロー

※あらかじめ番号札を組ごとに用意しておく

1.荷物を受け取り、番号札をつける。組となる番号札を渡す。

※トラブル防止のため貴重品はお預かりしない。

※クローク終了時間をお伝えする。

2.番号ごとに分けた区画に荷物を保管

3.荷物を預けた人の番号と荷物番号を付け合わせ、番号と同じ荷物を返却

★クローク終了時、引き取り忘れの荷物がある場合には、本部団に引き継ぎ、本部団にて対応する。

会議センタークローク



クローク



国立大ホールクローク



クローク



横浜JC本部

■横浜JC本部(416、417)の整理整頓

- ・ LOM朝礼・終礼の会場であり、各LOMの方や日本JCの方もお越しになる場所です。
- ・ 横浜JCの休憩場所ともなりますが、飲食物のごみ等が散乱しないよう清潔感を保ち綺麗に使用しましょう。

■横浜JCメンバーの登録受付

- ・ 芳名帳、ペンを用意しておきます。
- ・ 登録時間: 7月18日(土)朝礼終了～17:00
7月19日(日)朝礼終了～16:00

横浜JC本部



円形プラザブース運営補助について

本年度のサマーコンファレンスにおいて、横浜JCは円形プラザにて「YOKOHAMAスポーツサマコンフェス」を開催いたします。本事業は、横浜市を拠点とするプロスポーツチームや競技団体で構成される「横浜スポーツパートナーズ(YSP)」との協働事業として実施し、スポーツを通じたまちの魅力発信と次世代育成を目的としております。

事業概要円形プラザでは、横浜スポーツパートナーズ加盟団体を中心とした、6競技7チームによるスポーツ体験ブースを展開いたします。

参加団体

横浜DeNAベイスターズ、横浜FC、
横浜ビー・コルセアーズ、横浜エクセレンス
横浜GRITS、横浜キヤノンイーグルス、
ベースボール5(侍ジャパン選手参加予定)

来場する子どもたちが実際に身体を動かしながら競技の
魅力に触れられる体験型コンテンツを実施し、スポーツを
通じて夢や挑戦する心を育む機会を創出いたします。

横浜JCメンバーの役割

横浜JCメンバーの皆様には、各スポーツ体験ブースの円滑な運営を支えるサポートスタッフとしてご協力いただきます。
主な業務は以下のとおりです。

【設営・撤去補助】

・テント、机、椅子等の設営補助 ・備品搬入搬出補助 ・会場美化、安全管理

【運営補助】

・参加者受付 ・ブース誘導、 ・待機列整理 ・体験補助 ・景品配布補助
・来場者案内 ・各競技団体との連携サポート

【安全管理】

・熱中症対策の声掛け ・混雑時の導線 ・確保事故防止のための周辺監視

学生ボランティアとの連携

本事業では、学生ボランティアが運営に参加いたします。学生にとっては、プロスポーツチーム職員や地域団体と協働しながらイベント運営を学ぶ実践の場となります。横浜JCメンバーには、学生ボランティアが安心して活動できるようサポートいただくとともに、地域を担う次世代人財との交流を通じて、横浜の未来を共に創る機会としていただければ幸いです。

本事業の意義

本事業は単なるスポーツ体験イベントではありません。

スポーツの力を活用し、横浜の魅力発信、子どもたちの健全育成、地域スポーツの振興、学生の成長機会創出、横浜スポーツパートナーズとの連携強化を実現する、開催地LOM横浜JCならではのシティプロモーション事業です。全国から集まるJCメンバーや来場者に対し、「スポーツのまち横浜」の魅力を体感いただけるよう、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

当日運営タイムライン(円形プラザ)

8:00 - 9:30



- ・導線・受付設置
- ・救護ブース設営
- ・回収導線整備

10:00 - 17:00



- ・スポーツ体験実施
- ・回遊・スタンプラリー
- ・ゴミ回収・アンケート

17:00 -



- ・終了・撤収作業
- ・最終ゴミ回収
- ・臨港パーク誘導終了

会場構成 (円形プラザ)



イベントブース
7か所 (体験・展示)



中央大テント
受付 兼 救護所

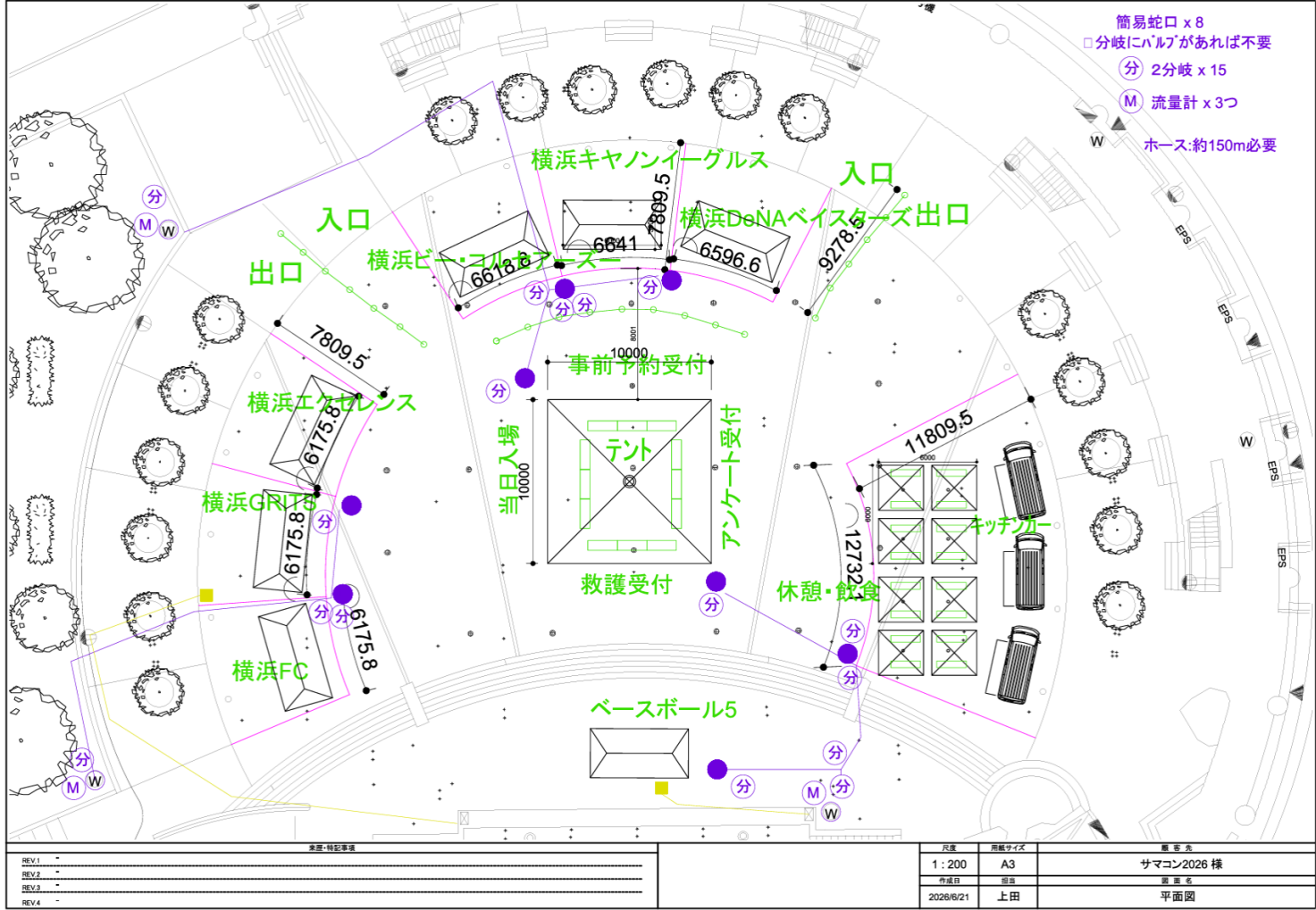


キッチンカー
3台 (飲食提供)

衣導



円形広場 全体レイアウト



施工開始
8:00~9:30想定

OPEN
10:00~17:00

---イベント想定---

- ・ イベントブース-7か所
- ・ 受付兼救護-中央大テント
- ・ キッチンカー-3台
- ・ 飲食満員想定-60名

設営-当日想定
業者 + JCメンバー約5名



円形広場 全体イメージ



衣導



各設備イメージ①

各設備イメージ



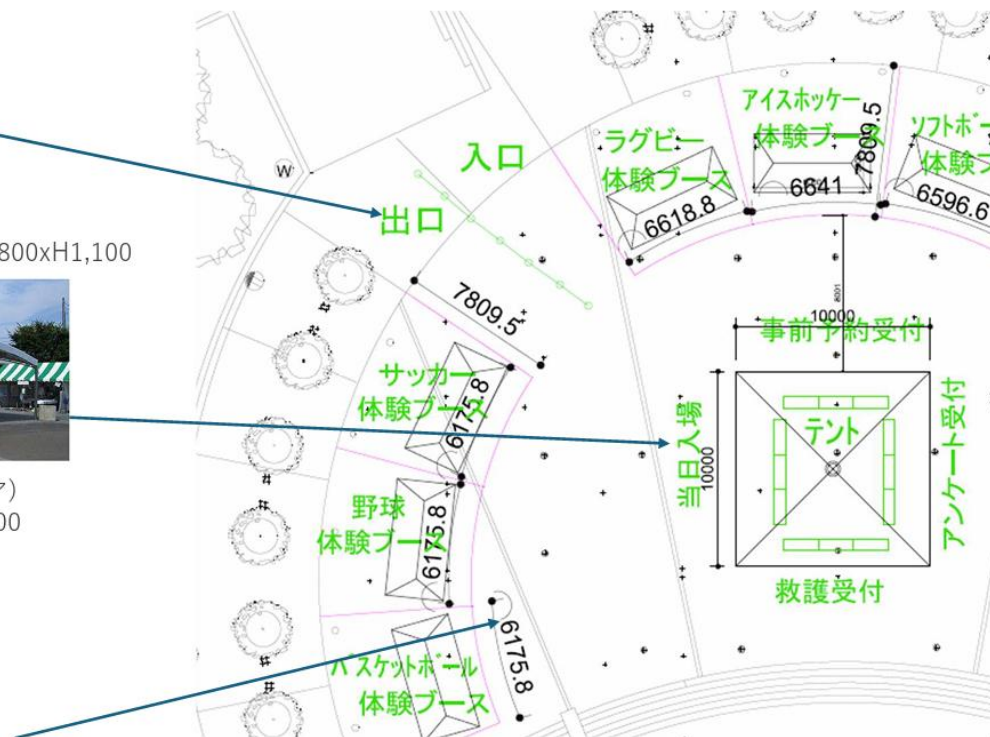
入り口や受付、各ブースのしきりに使用 W1,800xH1,100



大型テント(受付、救護エリア)
総全長 100,000x100,000x5,900

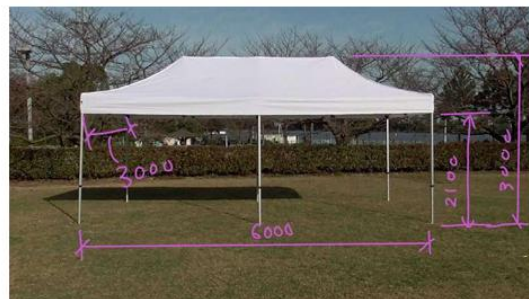


業務用レンタルミスト(各所に設置)



各設備イメージ②

各設備イメージ



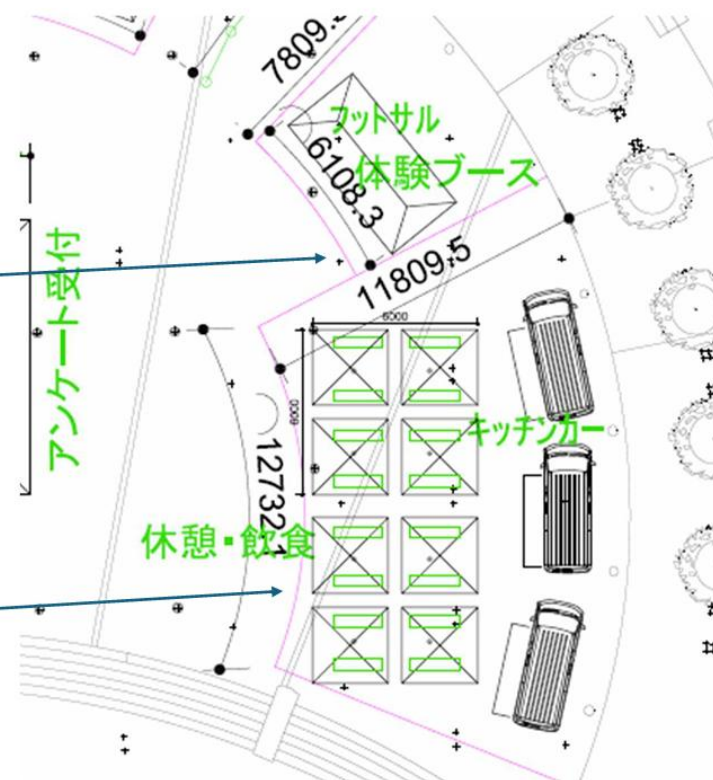
テントを二つ並べて、雨対策兼熱中症対策とします



4つで1つのシェード 総全長 W6,000xD6,000xH3,000
ベンチ-3人掛け(画像のソファは無し)



木目ベンチ



YSPスポーツ体験フェス



連携先

横浜スポーツパートナーズ（YSP）と協働

内容

6競技7チームによるスポーツ体験ブースを展開

対象

小学生を中心としたこどもたち（保護者同伴）

◎ 狙い

こどもたちが実際に身体を動かし、トップチームの指導や交流を通じて「競技の魅力」に触れる機会を創出する。
スポーツを始めるきっかけ（動機付け）となる成功体験を提供する。

衣導



スポーツチャレンジチェックシート

🎯 目的

体験を「一度きり」で終わらせず、こどもが次の一步を踏み出すきっかけとする

✂️ 設計

気づきと動機付けを重視し、競技間のデータ競争を生じさせない内容とする

※個人情報の過度な取得は行わない

📄 運用

スタンプラリー用紙と一体化し、配布・回収導線を簡潔化する



スポーツ体験



簡易診断
(気づき)



次の一步
(動機付け)



参加者配布物

(表面) 横型B5サイズ



(裏面)横型 B5サイズ



衣導



完走導線

全ブース達成者へ参加賞を贈呈し、回遊の完走率を高める

数量

参加賞 約3,000個（目標参加者数に連動して準備）

引換場所

出口付近に設置し、滞留を防止する



回遊設計のポイント

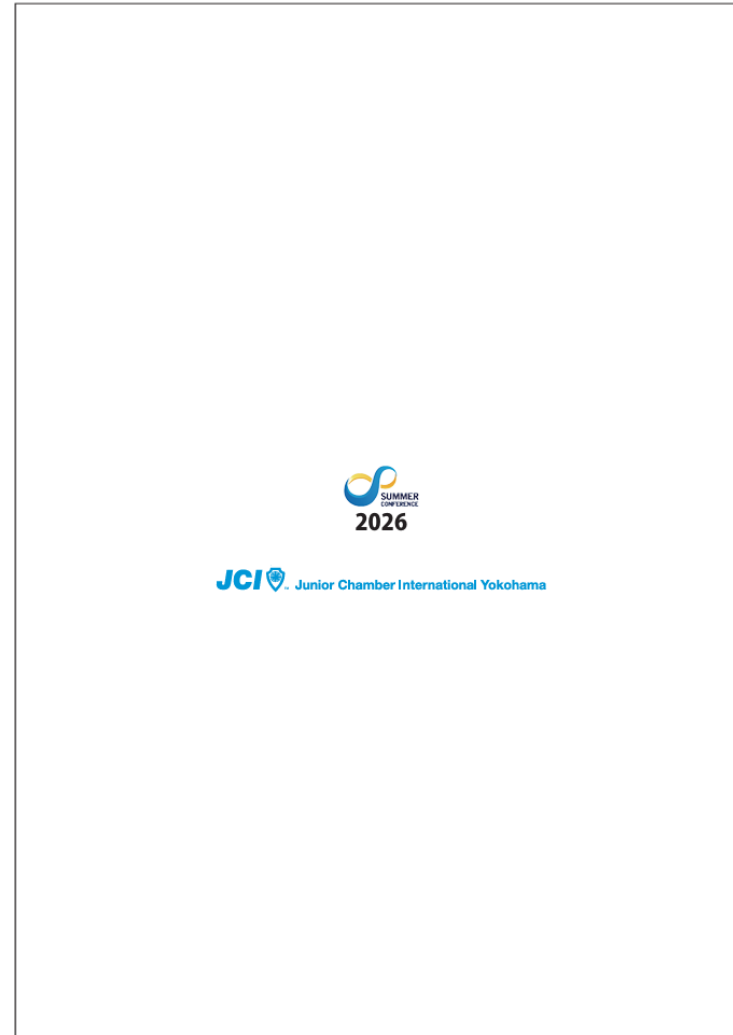
「入口 → 体験・スタンプ → 出口（参加賞引換）」の一方通行に近い大きな流れを作り、会場内の混雑緩和と全エリアへの誘導を両立させる。



(表面) 横型A4サイズ



(裏面)横型 A4サイズ





基本構造：こども1名に対し保護者1～2名同伴



体験参加こども（目標）

3,000名

スポーツ体験フェス等の参加目標数



想定来場者数

8,000～10,000名

同伴保護者を含めた総来場者規模



 受付時に参加者全員へ配布し、満足度向上と回遊促進を図る



スポーツドリンク

熱中症予防として全員に配布(氷を使用して、どぶ付け箱にて管理)

3,000本



スタンプラリー用紙

会場内の回遊促進ツール
完走者には参加賞を用意



スポーツチャレンジチェックシート

スタンプラリー用紙と一体化
体験後の動機付けに活用



会場マップ

迷い防止とスムーズな誘導
全体の導線を司視化

衣導



来場者体験と環境配慮を両立させるため、以下の3点を徹底して実施する。



空容器回収（導線の明確化）

ドリンク配布と連動させ、飲み終わった後の回収導線を分かりやすく設計。



分別回収の徹底

回収場所を集約し、誘導スタッフやサインを配置して分別率を向上させる。



ゴミ箱アンケート

回収行動と効果検証を両立させ、捨てる行為自体を参加型コンテンツ化。



南口広場エリアの補助

■南口広場エリアで開催されるサマコンフェスの設営、 運営の補助業務

- ・本年のサマコンフェスは、「University」要素を取り入れ、参加者が体験ブースを通じて主体的に参画できる学園祭形式で実施します。
- ・カーボンニュートラル社会の実現に向けた政策成果を体験できるコンテンツとして、親子で参加できるワークショップや参加型ゲーム、体験展示を実施します。



円形プラザ

市民参加型の体験エリア
(スポーツ体験・ボランティア)



臨港パーク

日本JC事業エリア
(メイン会場・熱量の波及先)



当初のキッズチア企画は、会場全体の動線及び集客効果を最適化するため、円形プラザから臨港パークへ集約・移設を実施。



ナイトインフォメーションブース・周回ゴミ拾い

- ・ 中華街、野毛エリアにナイトインフォメーションブースを設置し各LOMの方々のお店探しや困りごとを解決します。
- ・ ナイトインフォメーションブースを拠点として周回兼ゴミ拾いを実施し、サマーコンファレンス開催時に市民や行政に対して、プラスのイメージをもってもらいたくためにも横浜JCとしての責任をもち、清掃活動を実施します。

A ナイトインフォメーションブース B 周回ゴミ拾い

■ A B 中華街エリア

華正樓(新館) 横浜市中区山下町164

■ A B 野毛エリア

イタリアンバルLava Lava 横浜市中区野毛町1丁目4-1

■ B 関内エリア

第一総業ビル 横浜市中区住吉町一丁目14

■ B 桜木町駅前エリア

桜木町駅前広場 横浜市中区桜木町一丁目200

ナイトインフォメーションブース・周回ゴミ拾い



緊急対応マニュアル①

● 地震・火災などの災害

人命確保を最優先し、被害拡大を防止するため、安全に避難できるように誘導する。

誘導に関しては会場の係員の指示に従う。

来場者を安全に誘導し、雑踏を整理する。

周辺道路及び出入口の案内誘導を行う。

緊急事態が予測される場合や消防、警察への通報が必要な場合は速やかに芳垣委員長(080-1150-2893)または石田VC(080-4460-7430)へ連絡する。

通報後は、速やかに消防、警察に連絡するとともに、指示を受け適切な措置をする。

● 雑踏における事故

周辺道路及び出入口付近の案内誘導を行う。災害防止と早期発見と適切な初期措置を行う。

緊急事態が予測される場合や消防、警察への通報が必要な場合は速やかに芳垣委員長(080-1150-2893)または石田VC (080-4460-7430)へ連絡する。

● その他来場者のケガ・体調不良の救護 ※救護室 会議センター514

芳垣委員長(080-1150-2893)または石田VC(080-4460-7430)へ連絡して対応する。



緊急対応マニュアル②

● テロなどによる人的災害
警察の指示に従い速やかに行動する。

● その他緊急時の対応
芳垣委員長(080-1150-2893)石田VC(080-4460-7430)へ連絡する。

- 緊急連絡先
- ① 警察:110
 - ② 消防:119
 - ③ 芳垣委員長: 080-1150-2893
 - ④ 石田VC: 080-4460-7430

